

できるのか。精神的な障がい
に起因する自殺、実態はどう
なっているのか。福祉介護班、
国保健班との連携は。

●課単独での対応は困難、訪
問事業者との情報交換の会
を重ね、班同士の連携、自殺
問題は課全体として考えてい
く。自殺の3割はうつ病、町の
自殺率11.0%、雇用と家庭
内ストレス等がうつ病を起因
する。21年6名、20年度4名、
19年度4名。
●福祉バスであることをバス
に表示できないか。

●表示するよう検討する。
■健康福祉課：介護保険特別
会計

●介護従事者処遇改善臨時
特例基金繰入金1800万
円の目的は。

●21年3月議会で基金を創
設、3%の介護報酬の引き上
げに伴う介護保険料の上昇
を抑制するため、基金を取崩
し介護保険に繰り入れている。
その他に年間50万円の予算
枠は保険者の周知するため
のリーフレット代に当てている。
●居宅介護サービス給付費
の減額の理由をどう捕らえ
ているか。

●予算ベースは過去3年間の
実績からサービス給付費を
組んでいる。19年度1億560

0万円、20年度が1億580
0万円、21年度1億6300
万円見込みで年々給付費は
増えている。

■健康福祉課：国民健康保険
特別会計

●徴収率が現年度2%落ち
所得も落ちてきている。財政サイ
ドから61%の保険料のアップ
のほか一般会計から繰り入れ
てくれるのか。支払準備基金
は1か月4000万円の4か
月分の基金が必要である。他
に高額医療費の事件の影響
はあったか。

●保険料を6%以上あげら
れないから、一般会計繰入れ
も止むを得ない。支払準備基
金9000万円に戻した。国
の通達によると3か月分とな
ると1億円以上の基金が必
要だから基金をもう少し積
む必要がある。保険料の平準
化した運用を言われている。
21年度に2万円アップになっ
ての苦情は聞いていないが、事
件の影響と税額アップの影響
はあると思う。

●少子高齢化の波の中で財
政基盤安定化に広域化への
流れが国県に動きはあるか。

●後期高齢者医療制度は2
年後廃止して新しい制度に
切り替わる。県単位の広域化
で検討する動きがある。10団

体の1/3が一般会計から繰
入れないと成立しないことが
わかっている。

●人間ドックの一人当たり2
万4000円の助成でいいのか。
またオプションなしでは一人幾
らになるのか。

●22年度から人間ドックの助
成費は一律に2万4000円
にした。9500円の自己負
担で湯沢病院で受けていただ
きたい。他の病院では自己負
担が増える。

●湯沢町の医療給費が県下
安いときがあったがその後続
いているのか。

●医療費は湯沢町は低いと
認識している。湯沢病院では
ジェネリック薬品を使用して、
医療費抑制に努めている。

■健康福祉課：老人保健特別
会計

●この会計はいつ閉鎖される
のか。

●平成22年度に閉鎖を予定。
■健康福祉課：後期高齢者医
療特別会計

●普通徴収の割合が高い理
由と徴収率を上げた理由は。
●普通徴収の割合が高いと
は認識していない。また昨年
の実績に基づいた徴収率を算
出している。

●町は75歳以上の人間ドック
はない。国の制度では75歳以

上の人間ドックはあるようだ
が町はどう考えているのか。
●人間ドックをしなくとも町
の基本検診内容から足りてい
る。

■健康福祉課：病院事業会計

●利用料金制で病院の経営
状態が見えてこないが、入院、
通院の患者数から前年と変
わらないと思われる。経営状
況はどうなっているか。

●1月末の病院管理協議会
の決算によると従来どおりト
ントンであった。

■産業観光課：一般会計

●景気対策の雇用関連補助
金に観光案内所を当てている
が、今後とも確実に継続でき
るのか。

●他課に説明して雇用先を
求めた。ふるさと雇用はあと
2年間使える。観光協会に自
立、観光案内所のローテーショ
ンを考えていく中で2年間に
解決してもらいたい。

●観光費 信用保証補給金
が2000万円増額した理由
は。

●昨年度は、危機的な状況
から4000万円を追加した。
昨年の実績から例年の400
万円に1600万円を加えた
22年度予算を計上した。

●地域活性化補助金の70万
円は使い勝手があると思う。

地域に周知しなかった理由は。

●20年度に中里観光協会の
クロスカントリーコース整備、
苗場観光協会のAED購入
分、苗場グラウンドの整備を行っ
た。周知不足であったので今
後は周知したい。

●観光協会専務理事の補助
金は観光協会の自立化の目
的であったはずだ。実態はど
うなっているのか。

●観光協会の自立、2014
年問題、DCキャンペーンと誘
客立案に優れている人を確か
に募集を行った。今事業に追
われ、本来の仕事ができない
状態にある。

●湯沢ユニバーサルウォークは
今脚光を浴びている。予算の
中に出てこないが、どういう
対応だ。

●看板、案内板は一般的経費
から支出する。15.7kmのコー
スとなっている。

●3県7市町村の雪国観光
圏のソフト事業には問題が起
きてこないが、ハード部分を国
土交通省の支援があった場合、
みんな利害関係が絡み仕分
けが難しい。事務局の湯沢が
仕切らなければならぬ。ど
う感じているのか。

●担当者が今日のその会議
に出席している。
●農業委員会の現状から定